



Cisco Emergency Responder ユーザガイド 2.0

免責事項 / 通知

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

Cisco Emergency Responder の設定の正確さについては、すべてお客様の責任とさせていただきます。シスコはユーザが Emergency Service Responder へアクセスできない (Public Safety Answering Point へアクセスできないことを含む)、または Emergency Service Responder がユーザのロケーションを識別できないことから生じる、いかなる責任も負わないものとします。シスコはすべてのお客様が Cisco Emergency Responder の設定を初期設定時だけでなく、その後定期的に確認およびテストすることを強くお勧めします。さらに、シスコは、すべてのお客様が適切なトランクおよび帯域幅容量を準備し、緊急コールにオーディオパスを確実に使用できるようにすることを勧めます。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0704R)

Cisco Emergency Responder ユーザガイド 2.0

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



CONTENTS

このマニュアルについて v

概要 v

対象読者 v

マニュアルの構成 vi

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ
ガイドライン vi

謝辞 vii

CHAPTER 1

Cisco Emergency Responder の使用方法 1-1

Cisco Emergency Responder ユーザ Web インターフェイスへの
アクセス 1-2

誰かが緊急コールをかけたときの動作 1-3

緊急コールへの受信応答 1-4

緊急コールに関する詳細情報の取得 1-6

電話機検索の使用方法 1-9

緊急コールの履歴の表示 1-11

APPENDIX A

Cisco Emergency Responder のユーザ Web インターフェイス A-1

Call History A-2

Emergency Call Alert A-4

Locate Phone by Extension A-5



このマニュアルについて

ここでは、このマニュアルの対象読者、および表記法について説明します。

ここでは、次の内容について説明します。

- [概要 \(P.v\)](#)
- [対象読者 \(P.v\)](#)
- [マニュアルの構成 \(P.vi\)](#)
- [技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン \(P.vi\)](#)
- [謝辞 \(P.vii\)](#)

概要

Cisco Emergency Responder ユーザ ガイド 2.0 では、Cisco Emergency Responder (Cisco ER) 2.0 の使用方法について説明します。

対象読者

セキュリティ担当者は、このマニュアルを読み、実行する必要があるタスクおよび Cisco ER ユーザ Web インターフェイスについて理解してください。

マニュアルの構成

次の表では、このマニュアルの構成を示します。

トピック	説明
第 1 章「Cisco Emergency Responder の使用方法」	Cisco ER の詳細情報を示し、オンサイト緊急対応担当者によって実行されるタスクについて説明します。
付録 A「Cisco Emergency Responder のユーザ Web インターフェイス」	Cisco ER ユーザ Web インターフェイスのページに表示されるフィールドについて説明します。

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここには、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

謝辞

この製品には、WebMacro Servlet Framework (<http://www.webmacro.org>) 用に Justin Wells and Semiotek Inc. が開発したソフトウェアが含まれています。

WebMacro は、GNU General Public License の下に使用が認められます。また、Semiotek Public License の条件の下で使用することもできます。Semiotek Public License は次のとおりです。

Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000 Semiotek Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by Justin Wells and Semiotek Inc. for use in the WebMacro Servlet Framework (<http://www.webmacro.org>).”
4. The names “Semiotek Inc.” and “WebMacro” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact justin@webmacro.org
5. Products derived from this software may not be called “WebMacro” nor may “WebMacro” appear in their names without prior written permission of Justin Wells.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by Justin Wells and Semiotek Inc. for use in the WebMacro Servlet Framework (<http://www.webmacro.org>).”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY SEMIOTEK INC. “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL SEMIOTEK INC. OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,

EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



CHAPTER 1

Cisco Emergency Responder の使用方法

Cisco Emergency Responder (Cisco ER) は、ユーザが危機的な状況に迅速かつ効率的に対処できるように支援する緊急時通信システムです。電話網内で誰かが緊急コールをかけると、Cisco ER は自動的にそれを通知し、コールを最寄りの Public Safety Answering Point (PSAP; 緊急応答機関) オペレータにルーティングします。Cisco ER ユーザ Web インターフェイスで、Cisco ER が提供する内線番号を使用して発信者のロケーションを探し出すことができます。一旦、発信者のロケーションがわかれば、緊急現場に出向くか、支援人員を派遣するか、または別の方法で、会社の緊急対応ポリシーの要件に従い行動することができます。

また、Cisco ER は、システムが受信した緊急コールのレコードを保持するため、後からこの情報にアクセスすることができます。

次のトピックで、Cisco ER の使用方法について説明します。

- [Cisco Emergency Responder ユーザ Web インターフェイスへのアクセス \(P.1-2\)](#)
- [誰かが緊急コールをかけたときの動作 \(P.1-3\)](#)
- [緊急コールへの受信応答 \(P.1-4\)](#)
- [緊急コールに関する詳細情報の取得 \(P.1-6\)](#)
- [電話機検索の使用方法 \(P.1-9\)](#)
- [緊急コールの履歴の表示 \(P.1-11\)](#)

Cisco Emergency Responder ユーザ Web インターフェイスへのアクセス

Web アラートを表示し、緊急コールに関する詳細情報を取得するには、Cisco ER にログインする必要があります。

Cisco ER ユーザ Web インターフェイスにログインするには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** ブラウザのロケーション フィールドに、管理者から提示された URL を入力します。

メインの Cisco ER Web インターフェイスが表示されます。

- ステップ 2** **Navigation** プルダウン メニューから **Cisco ER User** を選択し、**Go** をクリックします。

Cisco Emergency Responder User Login ページが表示されます。

- ステップ 3** ユーザ名とパスワードを入力して、**Login** をクリックします。ログインできない場合は、ユーザ名とパスワードを管理者に確認してください。

Emergency Call Alert ページが表示されます。

どのページでも、画面上部の **Logout** リンクを選択することで、Cisco ER ユーザ Web インターフェイスを終了できます。



ヒント

Cisco ER ユーザ Web ページの機能の使い方に関するヘルプを表示するには、**Help>Help for this Screen** を選択します。

誰かが緊急コールをかけたときの動作

ここでは、誰かが緊急コールをかけたときに何が起こるかを簡単に説明します。

- 誰かが緊急コールをかけます。
- Cisco ER がコールを受信し、それを該当地域の最寄りの PSAP に転送します。
- 同時に、Cisco ER は、緊急対応担当者の電話機にコールして、緊急コールを受信したことを通知し、発信者の内線番号を提示します。管理者によるシステム設定によっては、発信者の内線番号、Emergency Response Location(ERL; 緊急対応ロケーション) の名前、緊急コールの時間を示す電子メール メッセージまたは電子メール ページを受信する場合があります。
- 緊急コールに関する情報は、Emergency Call Alert ページにも表示されます。この情報には、緊急コールの日付と時間、発信者の内線番号、ERL 名、および電話機のロケーションが含まれます。ERL の実際の住所やポート名などの発信者のロケーションに関する詳細は、コール レコードをクリックすると表示されます(ポート名は、スイッチ上で特定のポートに対して設定できません)。



(注) Cisco ER は、自動追跡された電話機についてのみポート名を表示します。

- 発信者のロケーションが判明したら、会社の緊急対応ポリシーに従ってコールに対処できます。
- 発信者が緊急コールをかけるとすぐに、Cisco ER は Emergency Call Alert ページを更新します。Cisco ER が何らかの理由でリアルタイムに更新できない場合(たとえば、一時的にサーバへの接続が切断されているためなど)でも、Emergency Call Alert ページは 30 秒以内に更新されます。



(注) Cisco ER は発信者の内線番号を提供するだけで、実際の緊急コールを聞くことはできません。

緊急コールへの受信応答

緊急コールに受信応答するということは、次のことを意味しています。

- そのコールのために会社の緊急対応ポリシーに従って行動する責任を担っている。
- ポリシーに従い、発信者の物理的なロケーションに向向いたり、緊急事態の状況を電話で監視したりする必要が生じる場合があることを理解している。
- コールに受信応答すると、Cisco ER によって Emergency Call Alert ページ リストからそのコールが削除され、さらに応答者の Emergency Call Alert ページだけでなくシステム内のすべてのオンサイト緊急対応担当者の Emergency Call Alert ページからそのエントリが消去されることを理解している。



(注) Cisco ER ユーザ Web インターフェイスへのアクセス権を持つすべてのセキュリティ担当者（オンサイト緊急対応担当者）に対して、Emergency Call Alert ページに同じ緊急コールが表示されます。コールに受信応答すると、Cisco ER はリストからそのコールを削除します。

コール レコードが Emergency Call Alert ページのリストから削除されても、Cisco ER によってコールに関する情報は保存されます。コール履歴を表示すると、受信応答済みの緊急コールに関する情報を確認できます（コール履歴の表示方法については、[P.1-11](#) の「[緊急コールの履歴の表示](#)」を参照してください）。また、電話機の内線番号を検索することで、発信者のロケーションに関する詳細情報を確認できます（発信者のロケーションに関する詳細を表示する方法については、[P.1-6](#) の「[緊急コールに関する詳細情報の取得](#)」を参照してください）。

始める前に

次の手順は、すでに Cisco ER にログインしており、Emergency Call Alert ページが表示されていることを前提にしています。

Cisco ER へのログイン方法については、[P.1-2](#) の「[Cisco Emergency Responder ユーザ Web インターフェイスへのアクセス](#)」を参照してください。

Cisco ER ユーザ Web サイトの任意のページから Emergency Call Alert ページを表示するには、Web Alert を選択します。

緊急コールに受信応答し、リストから緊急コールを削除するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Emergency Call Alert ページで、受信応答する緊急コールの **ACKNOWLEDGE** をクリックします。

メッセージと、受信応答を確認するためのプロンプトが表示されます。

ステップ 2 **OK** をクリックします。

Cisco ER は、応答者の Emergency Call Alert ページと、システム内のすべてのオンサイト緊急対応担当者の Emergency Call Alert ページを更新し、受信応答されたコールを削除します。

緊急コールに関する詳細情報の取得

緊急コールに対処するために Emergency Call Alert ページに表示される内容より詳細な情報が必要となる場合や、後から法執行機関の担当者や他の緊急対応担当者にこれらの詳細情報を提示する必要がある場合があります (P.1-11 の「[緊急コールの履歴の表示](#)」を参照してください)。

Emergency Call Alert ページでコールレコードをクリックすると、即座に緊急コールの詳細情報を表示できます。

所在地の住所や 3 桁のエリアコードなど、表示される詳細情報はシステム管理者がシステムをどのように設定したかによって異なります。これらの詳細情報は、PSAP オペレータに対して表示される情報と同じ内容です。

これらの詳細情報に発信者の正確な物理ロケーションが示されていない場合がありますが、緊急コールの発信元エリアは示されています。詳細情報が緊急コールの発信者のロケーションを特定するために役立たないと判断した場合は、システム管理者に連絡してください。

表 1-1 に、Emergency Call Alert ページでコールレコードをクリックしたときに表示されるフィールドを示します。

表 1-1 緊急対応ロケーションに関連するフィールド

フィールド名	説明
ERL Name	システム管理者がコールのロケーションとして設定したゾーン名。
House Number	ビルの所在地住所の番号部分 (たとえば、170 West Tasman Dr. の場合は「170」)。
House Number Suffix	番地の区分番号 (/2 など) (ある場合)
Street Name	ビルの所在地住所のストリート名。
Street Suffix	ストリートのタイプ (Avenue の場合は AV など)。
Prefix Directional	ストリート名に含まれる場合は、先頭の方向表示 (たとえば、North の場合の N)。
Post Directional	ストリート名に含まれる場合は、末尾の方向表示 (たとえば、North の場合の N)。
Community Name	住所のコミュニティ名 (たとえば、市、町、地区の名前)。

表 1-1 緊急対応ロケーションに関連するフィールド (続き)

フィールド名	説明
State	2 桁の州の略記。
Main NPA	発信側の電話番号に関連付けられたメイン番号の 3 桁のエリアコード。
Customer Name	ERL に関連付けられた加入者番号。通常は、会社名。
Class of Service	ERL のサービスクラス。
Type of Service	ERL のサービスのタイプ。
Exchange	電話機にサービスを提供している電話局の Local Exchange Carrier (LEC; 地域通信事業者) 交換識別子。
Main Telephone No.	ERL に関連付けられたメインの電話番号。ERL のセキュリティ オフィスの番号など。
Order Number	このレコードの作成または更新アクティビティのサービスオーダー番号。
Extract Date	レコードの作成日。
County ID	ゾーンの国識別コード (米国では、米国商務省統計局によって国に割り当てられた Federal Information Processing Standard (FIPS; 連邦情報処理標準) コード)。
Company ID	National Emergency Number Association (NENA) に登録されている会社識別コード。
Zip Code	住所の郵便番号。
Zip Code Extension	郵便番号のプラス 4 桁の数字。
Customer Code	カスタマーコード。自分のコードがわからない場合は、サービスプロバイダーから入手可能。
Comments	コメント (省略可能)。この ERL から緊急コールが発信された場合に、PSAP に対して表示することができます。
Longitude	ERL の経度。
Latitude	ERL の緯度。
Elevation	ERL の標高。

表 1-1 緊急対応ロケーションに関連するフィールド (続き)

フィールド名	説明
TAR Code	課税エリア レート コード。
Location	電話機の正確なロケーションを特定するために役立つロケーションの補足情報 (自由形式)。 たとえば、このページの他の場所にあるいくつかの個別のフィールドに定義された所在地住所が繰り返して表示される場合もあります。

電話機検索の使用方法

Emergency Call Alert ページから消去されたコールについてロケーションの詳細情報を確認する必要がある場合は、電話機検索機能を使用して内線番号を検索します。発信者の内線番号がわからない場合は、Call History ページで検索できません。コール履歴の表示方法については、P.1-11 の「緊急コールの履歴の表示」を参照してください。

電話機を検索するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 メイン メニューで **Phone Search** を選択します。

Locate Phone by Extension ページが表示されます。

ステップ 2 **Phone Extension** フィールドに、詳細情報を確認する発信者の内線番号を入力し、**Find** をクリックします。

画面下部に、発信者に関する詳細情報が表示されます。

表 1-1 に、電話機の内線番号を検索したときに表示されるフィールドを示します。

Emergency Call Alert ページに戻るには、メイン メニューで **Web Alert** を選択します。



ヒント

- Cisco ER サーバの起動直後に緊急コールが発信された場合は、発信者のロケーション詳細情報をすぐに取得できないことがあります。その場合、この発信者の内線番号を使用した電話機検索の結果には「No matching phone for the given extension (指定された内線番号に一致する電話機がありません)」と表示されます。
 - 発信者がある ERL で緊急コールを発信し、その後すぐに別の ERL に移動している場合もあります。電話機検索機能が使用される前に、Cisco ER がこの移動を登録していれば、電話機検索画面には発信者の 2 番目の ERL のロケーション詳細情報が表示されます。
 - 1 つの内線番号を共有する電話機のロケーション詳細情報を表示すると、電話機検索画面には、その内線番号を共有するすべての電話機の詳細情報が表示されます。検索を絞り込むには、**Select a phone to view details** をクリックします。Last Time of Emergency Call フィールドに基づいて、詳細情報を表示する電話機を選択します。
-

緊急コールの履歴の表示

Cisco ER は、最近の 10,000 件の緊急コールについて履歴レコードを維持します。

場合によっては、最近のコール履歴情報を法執行機関の担当者や他の緊急対応担当者に提供する必要があることがあります。この情報は、報告する目的で使用される場合があります。たとえば、会社が、一定期間に受信する平均的な緊急コール数を処理するために十分なセキュリティ担当者(オンサイト緊急対応担当者)が配備されているかどうかを判断する必要がある場合があります。

緊急コールの履歴を維持することで、特定の日または特定の発信者から発信された緊急コール数、またはコールの説明に特定のキーワードを含む緊急コール数について詳細情報を表示できます。また、コールレコードの Comments フィールドにアクセスすることで、緊急事態の種類や何が行われたかなど、緊急コールについて追加情報を入力したり、表示したりできます。

コール履歴を表示するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 メインメニューで Call History を選択します。

Call History ページが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウンリストとテキストフィールドを使用して、特定のコールサーチ条件を入力します。条件を追加するには More をクリックします。また、最後に追加された条件を削除するには Fewer をクリックします。



(注) 複数の条件を指定した場合は、必ず、すべての条件を満たす必要があるのか、またはいずれかの条件を満たすだけで良いのかを選択してください。たとえば、7月6日に会社のサンノゼのオフィスから発信された医療緊急コールをすべて表示する場合は、条件は次のようになります。

Find Details of calls where all of the conditions are satisfied and where Date is 07/06/2003 and where ERL Name is Exactly SanJose Building and Comments contains medical. (すべての条件を満たし、Date が 07/06/2003 で、ERL Name が SanJose Building に一致し、Comments に medical が含まれるコールの詳細情報を検索する)

■ 緊急コールの履歴の表示

ステップ 3 Find をクリックします。

指定した検索条件を満たすコールについて情報が表示されます。

情報が 1 つの画面に収まらない場合は、Cisco ER は複数ページを使用してコールをリストします。

現在のページ以外の情報を表示するには、リンクをクリックするか、または Page フィールドにページ番号を入力して Page リンクをクリックします。

ステップ 4 緊急コールについてのコメントを入力または変更するには、そのコール レコードの Comments フィールドで **edit** リンクをクリックします。Call Details ページが表示されます。

Call Details 画面の **Comments about the call** フィールドにコメントが表示されま

す。

- コメントがフィールドの表示域より長い場合は、コンピュータのキーボードの右矢印と左矢印を使用して、コメントをスクロールできます。
- コメントを追加または編集するには、情報を入力して **Update** をクリックします。
- コメントを以前に保存されていた値に戻すには、**Reset** をクリックします。

ステップ 5 Close をクリックして、Call Details ページを閉じます。

表 1-2 に、緊急コールの履歴を表示したときに表示されるフィールドを示します。

表 1-2 コール履歴のフィールド

フィールド名	説明
ERL Name	システム管理者がコールのロケーションとして設定したゾーン名。
Caller's Extension	緊急コールの発信元の内線番号。
Time	緊急コールの発信時刻。
Date	緊急コールの発信日。
ELIN Used	緊急コールが切断された場合に、PSAP オペレータが緊急コールの発信者と連絡を取るために使用するコールバック番号。
Comments	コールのコメントを入力できる edit リンクを含むフィールド。コメントの入力方法の詳細については、 ステップ 4 を参照してください。



ヒント

Cisco ER は、最近の 10,000 件の緊急コールについて履歴レコードを維持します。それ以前の緊急コールのコール詳細情報を入手する必要がある場合は、システム管理者に情報の提供を要請してください。システム管理者であれば、これらのレコードを保存している可能性があります。

■ 緊急コールの履歴の表示



APPENDIX **A**

Cisco Emergency Responder のユーザ Web インターフェイス

次のトピックでは、Cisco Emergency Responder (Cisco ER) ユーザ Web インターフェイスのページに表示されるフィールドについて説明します。

- [Call History \(P.A-2 \)](#)
- [Emergency Call Alert \(P.A-4 \)](#)
- [Locate Phone by Extension \(P.A-5 \)](#)

Call History

Call History を選択すると、Call History ページが表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするにはユーザ権限またはシステム管理者権限が必要です。




説明

Call History ページを使用すると、ネットワーク内で発信された緊急コールの履歴を表示できます。Cisco ER 2.0 は、最近の 10,000 件のコール履歴レコードを維持します。これらのコールの発信日時には制限はありません。

表 A-1 Call History ページ

フィールド	説明
Search criteria	<p>表示する緊急コールを選択するための検索条件を入力できます。</p> <p>すべての緊急コールを表示するには、条件を入力せずに Find をクリックします。</p> <p>検索を絞り込むには、次の操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検索するフィールドを選択し、検索関係を選択して、検索文字列を入力します。 フィールドの組み合わせを検索するには、次の手順を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> More をクリックして、検索フィールドを追加します。 選択したいいずれかの検索条件に一致するコールを表示する場合は、リストの上部にある Any を選択します (OR 検索)。 選択したすべての条件に一致するコールだけを表示する場合は、All を選択します (AND 検索)。 最後の検索条件を削除するには、Fewer をクリックします。Fewer は、More をクリックした後にだけ表示されます。 ドロップダウン リストから、検索ごとに表示するページあたりのレコード数を選択します。 すべての検索条件を入力したら、Find をクリックします。

表 A-1 Call History ページ (続き)

フィールド	説明
Call records	<p>検索条件に一致する緊急コールのリストを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ERL Name : 名前をクリックすると、該当する Emergency Response Location (ERL; 緊急対応ロケーション) の詳細情報が表示されます。 • Caller's Extension : 緊急コールの発信に使用された内線番号。 • Time : コールの発信時刻。 • Date : コールの発信日。 • Route Pattern-ELIN No. : コールに使用されたルート パターンと ELIN の組み合わせ。 • Comments : コールについて入力されたすべてのコメント。Edit をクリックすると、Call Details ページ内のコールに関するコメントを入力または変更できます。多数のコールが検索条件に一致する場合、Cisco ER は複数のページを使用してそれらを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> - First、Previous、Next、および Last の各リンクをクリックして、ページ間を移動できます。 - Page フィールドに特定のページ番号を入力して Enter キーを押すと、そのページに移動できます。
Update	<p>Update をクリックすると、そのコールのコール履歴に入力したコメントを含めることができます。</p> <p></p> <hr/> <p>(注) このフィールドは Call Details ページにのみ表示されます。</p>
Reset	<p>Reset をクリックすると、保存されていないコメントは削除されます。その後、コメントを入力し直すことができます。</p> <p></p> <hr/> <p>(注) このフィールドは Call Details ページにのみ表示されます。</p>
Close	<p>Call Details ページを閉じるには、Close をクリックします。</p> <p></p> <hr/> <p>(注) このフィールドは Call Details ページにのみ表示されます。</p>

関連項目

- [誰かが緊急コールをかけたときの動作 \(P.1-3\)](#)
- [緊急コールに関する詳細情報の取得 \(P.1-6\)](#)
- [緊急コールの履歴の表示 \(P.1-11\)](#)

Emergency Call Alert

Web Alert を選択すると、Emergency Call Alert ページが表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするにはユーザ権限またはシステム管理者権限が必要です。

説明

Emergency Call Alert ページを使用すると、緊急コールのリストを表示できます。リストには、各緊急コールに関する次の情報が含まれます。

- Call Time (コールの発信時刻)
- Line ID (回線 ID)
- ERL
- Location (ロケーション)
- Street (所在地住所)
- Phone Location (電話機のロケーション)

関連項目

- [誰かが緊急コールをかけたときの動作 \(P.1-3\)](#)
- [緊急コールへの受信応答 \(P.1-4\)](#)

Locate Phone by Extension

Phone Search を選択すると、Locate Phone by Extension ページが表示されます。

権限の要件

このページにアクセスするにはユーザ権限またはシステム管理者権限が必要です。

説明

Locate Phone by Extension ページを使用すると、内線番号を使用して電話機を検索できます。内線番号が一致する電話機が見つかった場合は、検索結果が表示されます。検索結果には、その電話機に設定されているすべての情報が表示されません。

表 A-2 Locate Phone by Extension ページ

フィールド	説明
Phone extension	検索する電話機の内線番号を入力するテキスト ボックス。
Find ボタン	電話機検索を開始します。

関連項目

- [誰かが緊急コールをかけたときの動作 \(P.1-3\)](#)
- [緊急コールに関する詳細情報の取得 \(P.1-6\)](#)

■ Locate Phone by Extension



INDEX

- C**
- Call History ページ A-2
 - 検索条件 A-2
 - コールレコード A-3
 - Caller's Extension フィールド、Call History ページ 1-13
 - Cisco Emergency Responder
 - インターフェイスへのアクセス方法 1-2
 - 動作方法 1-3
 - ユーザ Web インターフェイス A-1
 - ログイン 1-2
 - Cisco Emergency Responder へのログイン 1-2
 - Class of Service フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - Comments フィールド、Call History ページ 1-13
 - comments フィールド、Comments フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - Community Name フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6
 - Company ID フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - County ID フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - Customer Code フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - Customer Name フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
- D**
- Date フィールド、Call History ページ 1-13
- E**
- Elevation フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - ELIN Used フィールド、Call History ページ 1-13
 - Emergency Call Alert ページ A-4
 - ERL Name フィールド、Call History ページ 1-13
 - Exchange フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 - Extract Date フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
- H**
- House Number Suffix フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6
 - House Number フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6
- L**
- Latitude フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7

Locate Phone by Extension ページ A-5
 Location フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-8
 Longitude フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7

M

Main NPA フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 Main Telephone Number フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7

O

Order Number フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7

P

Phone extension フィールド、Locate Phone by Extension ページ A-5
 Post Directional フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6
 Prefix Directional フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6

S

State フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 Street Name フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6
 Street Suffix フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-6

T

TAR Code フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-8
 Time フィールド、Call History ページ 1-13
 Type of Service フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7

Z

Zip Code Extension フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7
 Zip Code フィールド、Emergency Call Alert ページ 1-7

き

緊急コール

 コール履歴の表示方法 1-11
 受信応答方法 1-4
 ロケーション詳細情報の取得方法 1-6
 緊急コールの発信者のロケーションの特定 1-6
 緊急コールの履歴 1-11
 緊急コールへの受信応答 1-4

こ

コールレコード、Call History ページ A-3
 コール履歴、表示 1-11

て

電話機の検索 1-6

な

内線番号による検索 1-6